

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(121)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(121)—

#### 1. 始めに

前報(120)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。さらにスピーカーアキュライザーの接続をバナナプラグに置き換え、電解コンデンサーを追加し、電磁波吸収テープ NRF-005T をバナナプラグに巻いています。音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回はオペラの曲です。

**harmonia mundi France LDC 78887**

モーツアルト オペラアリア集

**Teresa Stich-Randall (Soprano)**

**Bernhart Paumugartner 指揮 Orchestre du Mozarteum de Salzburg**

**Jon Prichard 指揮 OrchestreNational**

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

**harmonia mundi France** 盤ということで、RIAA、正相、第4時定数Midで聴いていきます。

ソリストは **Teresa Stich-Randall** ですが、1曲目から4曲目は **Bernhart Paumugartner 指揮 Orchestre du Mozarteum de Salzburg** の伴奏、5曲目から8曲目は **Jon Prichard 指揮 OrchestreNational** の伴奏です。

前半は、ライブ録音のモノラル盤で、盤質もよくなく、ナローレンジの録音ですが、**Teresa Stich-Randall** のソプラノは張りがあり、力強く前にでてくる歌唱です。バックの演奏は控えめで解像度もよくありません。

後半は、スタジオ録音のようでモノラル盤ですが、録音は若干良い方です。**Teresa Stich-Randall** のソプラノは同様に張りがあり、力強く前にでてくる歌唱で、バックの演奏も若干解像度が改善されています。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、モノラル盤ですが、歌唱の質感など、オペラのARIAの上記の盤の特徴が把握できます。

以上/